

2021年テーマ

収量500kg/10a、1等米比率80%を目指して!

中干し～登熟期の水管理が決め手

◎中干し～出穂期

根を健全に保ち、稲体の活力を低下させないようにする。

➔ **間断かんがい** … 水分と酸素を交互に供給する。

◎出穂期～開花期

出穂直後の穂は、風による損傷を受けやすい。

また、水分不足は開花・受精に影響するので**水分補給**が重要。➔ **湛水管理**

◎登熟期

開花後は登熟不良を防ぐため、**ほ場の地温を下げて**根の活力を維持する。

用水が十分に確保できるほ場

➔ **間断かんがい+夜間の掛け流し**が効果的

用水が十分に確保できないほ場

➔ **間断かんがい（飽水管理）**がおすすめ

「入水→自然減水→足跡の水が無くなる前に入水」を繰り返す。

飽水管理の詳細は裏面を参照してください